

アフター大河バトンプロジェクト

～大河ドラマをRe活用した高校生による地域プロモーション～

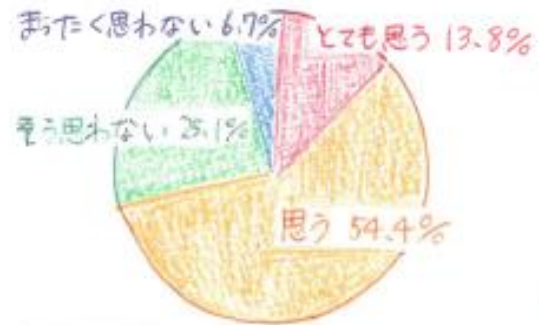


2020年1月から2021年2月まで放送されたNHK大河ドラマ「麒麟がくる」。

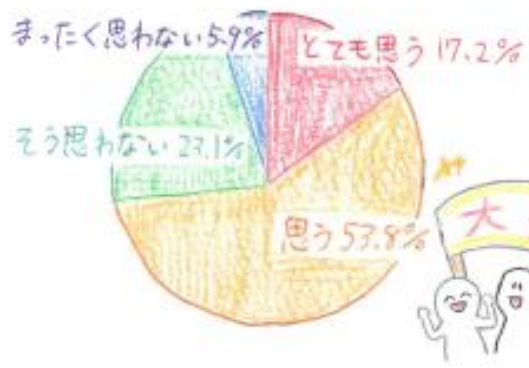
放送された当時、舞台となった地・京都府福知山市は大きな盛り上がりを見せたが、その後…?

▼福知山市の中高生約240人へのアンケート結果

Q1 「麒麟がくる」の放送で福知山市は注目を集めたと思いますか？



Q2 「麒麟がくる」の放送で地域は盛り上がったと感じますか？

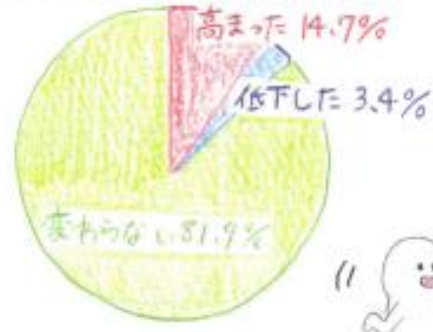


Q3 大河ドラマに関連した地域のイベントに参加したことはありますか？

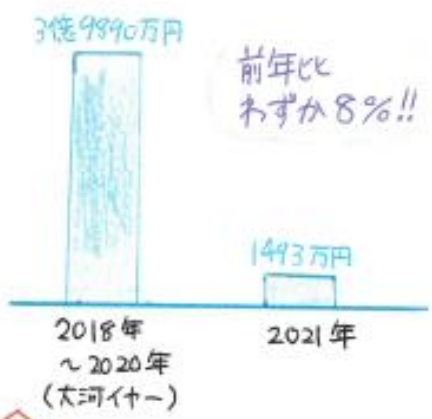


しかし…

Q4 「麒麟がくる」の放送が終わった今年、昨年度と比べ、地域に対する関心はどうなりましたか？



実際、福知山市の光秀関連事業予算は減少している!



地域の若者を巻き込んだ持続的な活性化が必要!!

何やる?
アフター大河

この合言葉とともに、
私たち高校生が
地元を盛りあげます!



#アフター大河

「#アフター大河」パネルを
持ったPR動画を全国各地の
大河ドラマの舞台となった
地域の高校生たちが
それぞれ撮影し、一体感を
持て取り組む。

大河ドラマ放送後、大河ドラマゆかりの土地に住む高校生が
「#アフター大河」を掲げて自ら企画を計画、実行する。

1年間の活動が終わった後は、次の大河ドラマの地に住む
高校生にバトンとなる「#アフター大河」パネルを渡す。

このバトンを繋いでいくことで、全国の高校生が結束感を持つと
ともに、持続的な地域活性化も図ることができる。

第1弾

「鹿其鹿美がくる」黒板アート対決



福知山 VS 京都・亀岡
兵庫・丹波
滋賀・大津
岐阜・恵那

明智光秀ゆかりの土地の高校生同士が
「明智光秀」をテーマに黒板アートを制作。
完成した作品はSNSにアップし、どちらかど
より完成度の高いものか全国の人々に判定してもらう。
勝敗はTwitter、Instagramの
投票機能を使って決定!!

また、制作の様子を撮影した
動画を YouTube で発信し、
制作過程も楽しんでもらう。



活動計画

4月

PR動画の制作、放映
企画、参加者の募集

5月

各校で企画を実行

活動の様子をSNSを通じて
全国に発信。「#アフター大河」を
つけて拡散する。

6月

＜活動例＞

- 光秀コンテスト
光秀といえば狙撃の名手、つまり
一芸に秀でている！など、
光秀要素が最も強い人を探す。
- 我が町自慢コンテスト
高校生が魅力を感じる地域の
ものをショート動画で紹介！

7月

8月

9月

10月

11月

活動まとめ

1年間で配信された活動内容を
アーカイブ的にまとめた
まとめサイトを制作する。

12月

1月

次の大河ドラマの地へバトンを渡す



福知山 vs 亀岡、丹波、
大津、恵那



#アフター大河」ボタンで全国各地を活性化!

アフター大河×高校生の力で、自分たちの地元を持続的に盛り上げます!

